

事業所名

児童デイサービス空木

支援プログラム(参考様式)

作成日

令和7年

3月

7日

法人(事業所)理念		子どもたちの「自立力向上」のために「楽しく学ぼう」を基本に「目的とねらい」を明確にした支援を行います。専門性のある「個別支援計画」「権利 財産 親の将来不安」に寄り添う「早期からの支援」に向けた働きかけ						
支援方針		①子どももっている力を伸ばし、自立力を向上させる個別支援計画を作成します。②職員の専門性と経験を結集し小さな変化の気づきから大きな改善を果たします。③ご家族や関係機関への理解、協力を求め適切な環境をつくり他事業所との繋がりに動きます。④「親の将来の不安に寄り添う」など 福祉的視点に加えて、法的専門職等との連携⑤日常生活や社会生活を円滑に営めるように、個別支援計画において5領域とのつながりを明確化したうえで支援を致します。						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	・到着時の検温や視診 活動中も常に観察を行い健康状態や心身の異変の把握に務める。・必要に合わせ定時での排泄誘導。・ADLや身辺整理などの指導を実際の場面で実施。・SSTなどによる精神的・社会的訓練。・特性に配慮した視覚支援や環境の構造化を実施する。・「どこで何をするか」等絵や文字を使い具体的に表示する。						
	運動・感覚	・トランポリン・サーキット等を通して周囲の環境に合わせた姿勢、運動ができるよう支援を実施。・柔軟な体づくりのためのストレッチ体操や音楽に合わせて体を動かす等の支援を実施 ・よりよい姿勢での活動が行えるよう各児に合わせた椅子や机を設置、必要に応じてパギーなども使用。・バランスボードやバランスボールを用いての姿勢保持。 ・5感2覚が統合されるよう運動遊びや個別での課題(認知 言語 社会性)を提供する。						
	認知・行動	・マッチング課題、構成課題、触覚遊び等様々な課題を通して、認知機能の発達を促す。・発達段階に応じた数や時計、時間の課題を提示。具体物を使用する段階から徐々に抽象的な思考へ進めるよう支援する。・スケジュールの視覚化、環境の構造化を取り入れ、誰にでもわかりやすい活動空間にすることで、適切な行動を促す。・タイムタイマーやカームダウンスペースの設置。・粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知。						
	言語 コミュニケーション	・季節の歌、絵本の読み聞かせ等を通じて、様々な言葉に触れる機会を提供する。・運動遊びの中で本人が感じている感覚を言語化して聞かせることにより、体験と言葉を結び付ける。また、遊びを通じて自発的な要求を引き出す。・言語によるコミュニケーションに加え、ジェスチャーなども含めた非言語コミュニケーションも活用する。・口の体操、語彙の拡大、文章表現の向上等を目的とした支援を実施。・終わりの会での言語表出・受容・指導員との適切な関係の中で、必要に応じて1対1でのやり取り						
	人間関係 社会性	・安定したアタッチメント形成のために、触覚過敏への配慮を行う。・ふれあい遊びや手遊び歌、指導員や異年齢児を含めた場での自由遊びを通して、人の動きを模倣することを促す。 ・必要時に行動の振り返りを行うことで、自己理解を促す。・小集団での活動を通し、ルールを理解や適切な振る舞いを学べるよう支援する。・面談で自尊心を高め、認める。 ・長期休暇には外出活動等を設定し、公共の場でのルールを知る経験を積む。・役割分担のある活動などの共同遊び。						
家族支援		・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・家族からの子育ての困りごとへの相談援助。		移行支援		・進路先や移行先への相談援助や情報提供 ・併用利用先や学校との情報共有や支援のすり合わせ		
地域支援・地域連携		・こども園、保育園、幼稚園や学校、併用事業所との情報連携や調整、支援方法についての情報共有、相談援助・相談支援事業所との連携・医療機関との情報連携や調整		職員の質の向上		・法人・事業所の運営に関わる資格取得を推奨(女性・勤務扱い) ・虐待防止・身体拘束などの内部研修を実施している。(年1回~2回) ・感染症や食中毒の研修・BCB研修(年2回)実施。		
主な行事等		・長期休暇には買い物体験、外出体験等を実施 ・行事だけでなく、通常の活動において季節に合わせた活動 ・年に1度の行事(音楽祭を開催、ポーリング大会、親子遠足、BBQ大会、クリスマス会、おもちゃつき、お祭り、他の音楽祭への参加)						